

学びの広場

松田の図書館

蔵書数約7万3千冊の
町立図書館を紹介します



<住所>
松田惣領2078
番地
(町民文化センター1階)
☎(83)7024

図書館の歴史

町立図書館は、昭和47年に現在の町民文化センターの場所にあった教育委員会の2階を利用し、約2千冊の蔵書を町民の方々に貸し出すことから始めました。町民文化センターの建設中(昭和54、55年)は、町の体育館に開設準備室を置いていました。

昭和56年7月から町民文化センターの落成と同時にセンター内に新しくなった図書館として開館しました。その時の蔵書は今の半分ほどでした。

平成5年には「子どもコーナー」が設置され、お話し会や親子での読み聞かせをする姿、足を投げ出して本を読む子どもの姿などが見受けられました。16年からは、パソコンによる貸し出しが開始され、23年からは、インターネットを使った検索、予約などが可能になり、ホームページを持ったことにより、その他のお知らせ機能も充実しました。



子どもコーナーでの読み聞かせ

知っていますか 便利な図書館活用術

◇町のホームページから図書館のページを開いてみてください。新しく入った本や読まれている本の検索、本の予約などができます。

◇図書館にない本を県内の図書館(県市町村)から借りる(取り寄せ)ことができます。K1ネット、県内図書館相互貸借サービスと言います。

◇秦野市と西湘地区に在住在勤であれば登録(利用者カードの作成)ができます。

◇子どもコーナーがあります。絵本、紙芝居が配架されている部屋で、おはなし会、子どもの本の展示も行います。



利用者カード

図書館ベストリーダー

平成25年10~12月まで貸し出した本のベスト10を紹介します。

順位	書名	著者
1	永遠の0	百田 尚樹
2	無垢の領域	桜木 紫乃
3	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾
4	ロスジェネの逆襲	池井戸 潤
5	愛しのローカルごはん旅	たかぎなおこ
6	モンスター	百田 尚樹
7	夢幻花	東野 圭吾
8	海と月の迷路	大沢 在昌
9	とっぴんぱらりの風太郎	万城目 学
10	遺産	笹本 稜平

※5位以下はほぼ同数の貸し出し回数

担当職員から 百田尚樹さん、東野圭吾さんの作品が2冊ずつ入っています。人気はまだ続きそうです!

今年の芥川賞(25年度下半期・第150回)となった小山田浩子さん「穴」と直木賞の朝井まかてさん「恋歌(れんか)」、姫野カオルコさん「昭和の犬」など、話題の本もいっぱいあります。ぜひ、ご来館ください。



紙芝居の読み聞かせ

- ☆読書週間の本の紹介
- ☆絵本カフェ
- ☆本の物語の部屋(25年度はアンパンマン)
- ☆大人向け講座(古典など)
- ☆本のおすすめバック貸し出し
- ☆隔月の本の紹介コーナー「お勧め本の棚」

来館時には、ぜひご覧ください。

図書館の催し物

◇リサイクル図書棚には、廃棄対象となった館内本や寄贈本などが並び、5冊まで持ち帰れます。また、町民からの新刊本や郷土史料などの寄贈も受け付けています。

☆おはなし会(乳幼児・児童向け)
☆小学生の仕事体験。中・高生の職場体験学習
☆夏休みの幼小中学生向けの月曜開館、簡単工作(25年度は跳ねるコップ、うちわ、ぱたぱたカードの製作)



寄中学校生徒の職場体験学習

お勧め本の棚



職員が知恵を絞って配架

図書館に入っただけで右側に「お勧め本の棚」を設けています。その時々にあつた内容の本を紹介しています。1・2月の内容は「2014年だれでもわかるお金の話」として、「アベノミクス大論争」「15歳からのファイナンス入門」「磯野家の相続税」「お金で死ななための本」などを紹介しました。3月は「詩と短歌」を紹介しています。

松田町大名行列(二)

『装束譜鑑』という冊子があります。発行者は松田町大名行列保存会。川瀬明宏会長時代の昭和60(1985)年に編纂されたものです。ページを開いてみると、保存会結成の趣旨に始まり、大名行列編成表・装束絵図・調度品や衣装種目一覧表などが20頁余りにわたってつづられています。

松田の文化財探訪 《指定文化財とその周辺7》 町文化財保護委員 鈴木一行



大名行列人形と渡辺会長

もちろん、市販されるような性格の冊子ではありませんので、一般人の目に触れることはほとんどありません。この冊子を筆者に紹介してくださったのは、現保存会会長の渡辺興治郎氏でした。さて、演劇・音楽・工芸技術などの無形の文化的遺産で、歴史・芸術上価値の高いものを「無形文化財」と呼びます。現在、わが町で

来館時には、ぜひご覧ください。無形文化財に指定されているのは「寄やどりき祭囃子まつりばやし」と「松田町大名行列」の二つで、これらを伝承していくために、共に保存会が設立されています。『装束譜鑑』は大名行列の編成や衣装を後世に伝えていくための貴重な資料なのです。しかし、無形文化財は「人間の『わざ』そのものであり、具体的にはそのわざを体得した個人または集団によって体現されるものなのです。例えば、大名行列のお弓係の「ヒーハーヒー」から始まる掛け声や「奴振り」の身のこなしを書物で伝えることは困難です。直接、人から人へと伝えていかねばなりません。ですから、保存会の方々は青少年への伝承に励んでいらつしやるのです。

図書館の概要

(蔵書数)	72,698冊 (平成25年4月現在)
(CD数)	2,169枚
(休館日)	月曜日、年末年始、館内施設点検日、蔵書点検期間(事前にお知らせします)
(開館時間)	午前9時30分~午後5時
(貸し出し期間)	2週間(次の予約がなければ延長可能)